0323
0805

日産厚生会玉川病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究課題名	慢性腎臓病（CKD）包括指導における病院薬剤師の介入がもたらす患者の各種意識変容への影響評価
当院の実施責任者	（所属）医療技術部薬剤科 （氏名）東理紗子
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
研究の目的	慢性腎臓病（CKD）の治療では、患者様ご自身が病気やお薬についてしっかりと理解し、納得して服薬治療を続けていくこと（アドヒアランス）、そして心臓や血管の病気（心血管疾患：CVD）を予防するための理解を深めることがとても大切です。 当院ではさまざまな職種が連携しCKD包括指導（全4回）を行っていますが、薬剤師による薬剤指導は1セッションの第2回目のみです。そのため適切な療養生活を継続するためには、指導後も患者様が地域の医療資源を自ら活用し続けること、また病院薬剤師と地域薬局薬剤師が連携し情報共有することが必要となります。そのため当院では、薬の説明だけではなく、かかりつけ薬局を療養継続の場として積極的に活用するよう説明しています。 CKD包括指導が腎機能の悪化を予防する効果は複数の報告があるものの、外来における薬剤師の個別介入が患者様の薬に関する意識変化・かかりつけ薬局活用意識に与える効果を数値化して評価した研究、特に、薬剤指導直後の患者様の心理的変化や、かかりつけ薬局を療養継続のパートナーとして認識できたか（病院薬剤師と地域薬局薬剤師の連携の土台構築）に着目した報告は少ないです。 そこで本研究では、薬剤指導の直後に質問紙調査を実施し、①指導後のお薬服用継続の意義、市販薬・サプリメントへの認識の変化、CKDシール・お薬手帳活用への認識の変化、②かかりつけ薬局の積極的活用に対する意識変化、③病院・薬局間の情報共有に対する安心感・認識の変化を数値化して評価します。本研究の成果は、CKD包括指導の質改善および病院薬剤師と地域薬局薬剤師の連携のさらなる構築に向けた基礎資料を提供するものと期待されます。
研究の方法	CKD包括指導時の薬剤師による指導後に、10問の質問紙調査を実施。

0323
0895

	質問紙調査の回答内容（数字の点数）をデータ化し、統計的な集計および解析を行います。自由記載欄は、対象患者様を特定できる情報が記載してある場合は削除して集計します。 新たに患者様に検査や追加の質問紙調査は実施しません。
対象となる方	当院で慢性腎臓病包括指導(全４回)の第２回薬剤指導を受ける患者様のうち、研究に同意いただけた方。
調査対象期間	２０２６年倫理員会承認日～２０２８年８月３１日
研究実施期間	２０２６年倫理員会承認日～２０２８年８月３１日
使用する情報・試料	質問紙調査により、薬剤師指導後の各種薬剤に関連する認識の変化、調剤薬局へ腎機能申告の有無、かかりつけ薬局活用がもたらす安心感、かかりつけ薬局の活用意識・イメージの変化、薬剤師に期待すること、薬剤指導の質・有益性を調査し、結果を点数化したものを使用します。
個人情報の取り扱い	使用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会発表や論文化での公表を予定していますが、その際も対象患者様を特定できる個人情報は使用致しません。
試料/情報の他機関への提供有無、および提供方法	なし
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問合せ先	公益財団法人日産厚生会玉川病院 （所属）医療技術部薬剤科 （氏名）東理紗子 （電話番号）03-3700-1151
備考	なし